

福 文化祭ふれあいコンサート
智のハーモニーが癒やしの空間を演出

11月1日から一か月間、町のアーティストたちがふるさとを鮮やかに彩った文化祭。最終演目となった「ふれあいコンサート」が11月30日に地域交流センターで開かれ、文化連盟の7団体と福智炎連太鼓が全26曲の合唱や演奏を披露しました。歌うことや奏でることへの喜びに満ちたハーモニーは、観客の心の奥深くまで響き渡り、文化の秋を華やかに締めくくりました。



↑約100人の観客を前に、口ずさみたくするような名曲の数々を披露する出演者たち。

↓今年も好評を博した佐賀のパルーンクラブ「風翔軍」による「むつごろう」搭乗体験。



秋 フクチ夢パルーンフェスタ2014
晴れの休日に夢ふくらませ

商工会青年部による「フクチ夢パルーンフェスタ2014」が11月23日に方城グラウンドで行われました。会場には町内全5校の小学1年生の想いを描いた「夢カード」の展示や、ピクニカ共和国の移動動物園など、見るだけでも楽しい企画や催しが満載。恒例の「熱気球係留飛行体験」には約170人が搭乗し、気球とともに来場者の歓声が青空にふわりと舞い上がっていました。

↓交通安全への取り組みと作文が高く評価された、市場小の児童たちと井上校長。



学 第30回 福岡県交通安全県民大会
学校全体の交通安全意識が高評価

「福岡県交通安全県民大会」が11月11日に福岡市で行われ、市場小が最高賞の「九州交通安全協会会長表彰」を受賞しました。また、交通安全作文表彰も行われ、同校の富永萌恵さん(小5)が優秀賞、佐野ほのかさん(小4)・連城怜奈さん(小5)が優良賞を受賞。栄えある名誉に井上憲治校長は「今後も日本一安全・安心な学校を目指したい」と、さらなる意気込みを語りました。

突 第5回福智町暴力等追放町民大会
き上げた拳に固い意思を込めて

11月23日に福智町暴力等追放町民大会が催され、会場となった公民館金田分館には約250人が集いました。大会では啓発ビデオを鑑賞したのち、「あらゆる暴力犯罪を断固追放しよう」といった全7項目の決議を採択。「暴力等に屈しない町民として頑張ろう」というシュプレヒコールや金田駅周辺でのパレードも行い、暴力のないまちづくりの実現を全員で誓いました。



↑参加者全員で力強くシュプレヒコールを上げ、暴力追放への機運を高めました。

↓現在整備への調査作業中のため立ち入りが禁止されている横穴墓も、今回特別に町内の歴史ファンへ公開。



福 「城山横穴群」国指定記念事業
智に眠るロマンを再発見

城山横穴群(金田)の「国指定史跡」認定を記念して、11月29日と12月13日に町内史跡めぐりを開催しました。今回は町内在住者への優先公開という趣旨での募集でしたが、募集開始からわずか10日間で満員に。両日合わせて80人が参加し、企画の目玉である「城山横穴群」はもちろん、「伊方古墳」「日立マクセルの赤煉瓦記念館」「興国寺」など、町内に点在する歴史のロマンを満喫。参加した高尾敏満さん(金田)は、「町の礎に触れる貴重な体験ができて楽しかった」と、悠久の時を刻む史跡めぐりに大満足の様子でした。

一 第39回金田えびす祭り
年を締めくくる年の瀬恒例の運試し

39年に渡って受け継がれている伝統行事「金田えびす祭」が、金田恵比寿神社奉賛会主催で12月2日・3日に開かれました。会場の金田菅原神社境内には、空くじなしの福引きや富くじ、縁起物の熊手を求めて約2千人が来場。白い息が出る寒さの中、来場者たちは会場内のテントでソバやおでんなどを手に、夜更けまで語りながら地域のつながりを温めていました。



↑家内安全や交通安全を願う「打ち込み」の掛け声が、絶えず会場に響きました。

↓大勢の保護者が見守る中、一着を目指し元気いっぱいスタートをきる選手たち。



息 福智町ふれあいマラソン大会
も心も弾ませて全力疾走

福智町子ども会育成連合協議会主催のマラソン大会が、11月23日に彦山川・中元寺川合流地点河川敷で行われました。町内の小中学生240人が参加し、吹き付ける強風の中、沿道の声援を受けながら学年別に用意された600m～3kmのコースを力走。ほおを赤らめながらも力を出し切ってゴールした小さなランナーたちは、達成感を表すように笑顔浮かべていました。